

第1号議案

NPO 法人エッジ

2015年度 事業報告

NPO 法人エッジでは 2015 年度下記の事業を行った。

組織基盤の強化、事業の普及とネットワーク

1) 組織基盤の強化

- (ア) VBM (Virtual Board Meeting) : 2014 年から計 3 回 VBM を開催。エッジの基盤と中期的な展望について検討した。
- (イ) DX パートナース : 制度として開始した。今後整備する。
- (ウ) DX セミナー : 12 回開催。合計 150 名参加、寄付率高く、DX パートナースへの誘いも含めて有効。
- (エ) 寄付の受付の窓口を広く展開 : CANPAN からのカード決済、DX セミナー、会員、賛助会員、今後の課題企業、大口、男性からの寄付
- (オ) 会計担当者として一名非常勤で雇用

2) 支援事業

- (ア) 【民間 LSA(学習支援員講座)】 開催
 - ① 基礎コース【8 コマ】200 名受講
 - ② 本コース【10 日間 50 時間】東京川崎 70 名、札幌 30 名、帯広 20 名、大坂 39 名、広島 30 名、宮崎 25 名 受講
- (イ) 【ディスレクシアセミナー】 開催 東京 12 回 150 名
- (ウ) 【DX 会 (成人当事者の会)】 開催 6 回 60 名、夜間部 2 回 20 名
- (エ) 【キッズ&ティーンズ開催】 4 回 20 名
- (オ) 【BEAM(文部科学省委託事業)】 教科書音声化事業、小中 国語社会 100 名
- (カ) 【「ディスレクシアへの合理的な配慮」】 普及事業 全国 8 か所 計 270 名、宮崎、広島、大坂、札幌、帯広、大分、山梨、東京川崎
- (キ) 【相談事業】 保護者、支援者、当事者の個別支援 50 件

3) 啓発事業

- (ア) ホームページ改良
- (イ) FB 週間で 25000 ビューあり、1300 いいね
- (ウ) ニュースレター 3 号、メルマガ 12 号+号外 9 回発行

その他、各地で「合理的な配慮」「学習支援員の育成・活動」など外務からの依頼に対応